



金魚の競を見学する刈谷市民の皆さん

金魚のまち弥富を見学

10月12日、刈谷市民の皆さんが、弥富市広報大使である金魚絵師の深堀隆介さんと一緒に弥富金魚の競(日本市場)など市内を見学しました。参加した皆さんは、競にかけられたさまざまな種類の金魚を見て、弥富金魚の美しさを堪能しました。

刈谷市美術館では、11月4日(日)まで「深堀隆介展」を開催しており、深堀さんの作品が数多く展示されています。

また、11月9日(金)～11日(日)の3日間、総合社会教育センターで市開催「やとみ金魚アクアリウム&深堀隆介展 2018」を開催します。期間中、深堀さんが、土・日と来場し、トークショーも行われる予定です。

※イベントの詳細は、市ホームページやチラシをご覧ください。

芝桜植樹祭・三ツ又池釣り大会

10月13日、三ツ又池公園にて、芝桜植樹祭と県主催の「三ツ又池釣り大会」が同時開催されました。今年も天候にも恵まれ、植樹祭には、多くのボランティアの方に参加いただき、春に赤やピンク、白の花を咲かせる苗1万7000株を植樹しました。

また、県主催の「三ツ又池釣り大会」では、約100名の方が参加し、例年以上の多くの魚を参加者が釣り上げました。中でも大物賞を獲得した方は、26cmのコイを釣り上げ、会場はとても盛り上がりました。



植樹をする参加者



新米給食会の様子

新米いただきます!

9月7日、市内小中学校で新米給食会が行われました。これは、今年で10回目の開催となり、弥富産新米(コシヒカリ)をあいち海部農業協同組合から提供を受け、食農教育の一環として児童・生徒たちに食への感謝の気持ちを育むことを目的として実施しています。

今年も、弥富中学校を市長が訪問し、1年生と一緒に給食を食べました。生徒たちからは「いつも給食はおいしいけど、今日は特別おいしいです!」「新米のおいしさに改めて気づいた。」と、お米をおいしそうに頬張りながら感想を教えてくださいました。



市ホームページ内フォトギャラリーや公式ツイッターでもまちの話題を紹介しています!



秋の例大祭

やとみ 歴史探訪

このコーナーでは、弥富市のまだまだ知られざる歴史について、弥富ふるさとガイドボランティアが紹介していきます。

明治の東海道(その4)

広報9月号でご紹介した、おみよし松から筏川沿いに東へ進みます。「海南こどもの国北」の交差点を左に曲がると、曹洞宗の名刹・弥勒寺があります。

弥勒寺は明応9年(1500年)に現あま市七宝町伊福に、近隣にあった広濟寺の末寺として創建されました。創建の際に作られた「銅像阿彌陀如来坐像」は、県指定有形文化財となっています。

天正12年(1584年)、蟹江合戦の兵火で寺は焼失してしまいました。しかし本尊は無事で、以後100年にわたって隣村で護持されてきました。

元禄元年(1688年)に弥勒寺は再興されました。3年後に、鳥ヶ地新田の開発に尽くした佐野才兵衛・西川甚助らが、鳥ヶ地の筏川べりに移しました。元禄12年(1699年)には現在の地に移されました。

明治の東海道は、弥勒寺からさらに東に続きます。



▲弥勒寺の山門



ゴルフをする参加者

福寿会運動会

9月10日、総合福祉センターで福寿会連合会運動会が開催されました。

各地の福寿会から大勢の参加者が集まり、輪投げやゴルフ、二人三脚、ポールころがしなど、参加者は楽しそうに競技に参加していました。

園児とのふれあい会

9月11日、弥生保育所で津島人権擁護委員協議会主催の「園児と委員のふれあい会」が行われ、所児181名が参加しました。

子どもたちは、弥富市人権擁護委員が用意した紙芝居や標語で人権について学びました。人権マスコットキャラクター「まもるくん」と「あゆみちゃん」が登場し、一緒に写真撮影を行いました。最後に、人権擁護委員から「まもるくん」と「あゆみちゃん」のキーホルダーのプレゼントがあり、子どもたちはとても喜んでいました。



「まもるくん」と「あゆみちゃん」と写真撮影

広報やとみでは市民の皆さんが撮影したお写真を募集しています! 詳しくは、市ホームページ「投稿こんな〇〇あったがね～」をご覧ください。